反戦、

全学連の総力で

人民の前に明ら

ての労働者

たのであ

#リている。そしてこの関いを、いまなりとに、東京区域、全半連等人があるとに、東京区域、全半連等人がある。そしてこの関いを、いまないのである。

二・二七、三・三闘争を大衆的

板橋区区戦をはじめ、文京・豊島 連絡会議には王字米軍キャンプの

に大規模な闘争に発展させていく

三月三百 (日曜日) には

練馬の五地区反戦から一名ずつ

職場、学園に徹底した討論をま

めの連絡会議を発足させた。この戦は、野戦病院開政実力阻止のた

に総力を 上午、三 一〇闘争の時へ

金楽の歌し

は、いまや 争の振動の変をなしている。 大闘争に支 続いて闘争われねばならぬ三里深間

野戦病権院反対闘争の爆発こそ、 として発展させなければならない さらに言い・三の金関東規模の闘い

を結成

連絡会議

二月十七日、東京北部の地区反戦東京・北部地区反戦

区域のよびかけで二月二十七日 区区域のよびかけで二月二十七日

首都人民への公

まずにはおかない。佐藤じしん、最も親愛なる同盟音』にひきこ

る挑戦状が、これであったのだ。

は、わずか失地回復のために二・めきたて大衆的に弾劾された日共 り、また社会党も三月八日におざ

きでの地域反対闘争が無力なものきにのの調督な挑戦状もまた、これ 底した間いであった。さらに米軍のような既成指導部の無力性を禁

> 抗闘争の展開を れ故にわれわれば

> > 公団

卑劣な買収工作

3・10千葉県反戦など決起集会

でしかなかったことを、基地間辺

不屈の連続闘争をノ









他方、反戦当年委の元

れた。反戦・念学祖は、 動隊の暴行は都内のデモに対

設定、これに が国鉄労働者

日には東京地本 で幅んでいる。 を音む順法闘争

分章

一月佐藤首 相が、全 国で一万

機動隊一千名増員の発縮は、本 会議はこの日都議会に機動隊増興

|千五日) の増員によって行うとい 東京都 (警視庁) 機動隊 (現在三

|増員問題として処理しようとして 祭官」の中から機動隊員を徴募す 「一般」警察官であり、「一般警 動隊増員問題で「一般警察官」の

映画

佐世保闘争の記録 共產主義者同盟中大細胞 不当弹压反対·護嶽弁護団

主

催 共產主義者同盟関西地方委員会

血面する現実と、革命的左導 るのに対し、まらしく労働連 り、年中行事化されようとし

社会主義学生同盟関西地方委員会

ナム野戦病院開設実

期令を撤回し、兵力制造に際起上

略の手詰まりは、日本帝国主義を

四〇年以来、北区議会で、ある

アメリカのこうしたベトナ

2 26

3 8 3 2 27

野戦病院第四波(6時期用公職) 野戦病院第三波 (金学連・反戦) 野戦病院第二波(金学連・反戦) 機動隊增員反対闘争(都庁)

. 10

三里塚国際空港阻止 (幹護県反

2・20王ナニ 病院反対闘争

千五百の実力闘 36名捕逮に屈せず全学連•反戦闘う

争

地区労運の多数訳をに含まる日共=
大時三十分、集会が始本まった。 学連・反戦)の退場を要求して開

金だ。この間にキューで衝突し、ゲート

|教育にわた。| 侵略加重政党の新たなエスカレー | ンタープライズ協争につづいて三 | この目のでケートを訪しこれは政府自員党がそのペトナム | 闘争に一貫して敵対し、羽田、エーしまった。

・ ア層辺の住民 ゴリ押

この日の闘いで三六名の労働者

| 賛成したことは、 昨年東交合理化

間に反対緊を投じるのはかまわな

機角體を装備した米海軍最新鋭のこのクイーン・フィッシュ号は

奈川県、東京都の労働者が約五三

これに、全学連・反戦および神

米原子刀器水幅ク | ライズ寄総阻止・米原路入総抗器

原潘橫須賀入港に抗議

(都電幅上行→部電搬送)に手を

会を宣言した。そのとき発学问を

およぞ一十人な

がおとった。

義的カンパニア闘争が結集力の低

共のセクト的な防害によって、春

参減盤拡大のためのカンパニアか て、「七号線、八号線」を (営団

は、いまや、反戦、企学速の実力成)。機動隊 増員を 阻止する力 るためである(公明は 増員に 賛機動隊増員を銀行しようとしてい 氏が自民公則関党に収存してでもい」と言っている。これは美濃部

の寄地とことなり、日本への公然

ンタープライズの検担質寄港への ていない事実は、これまでの原稿

抵抗し、抗議デモを貨徹した。

規制にもかかわらず、終始それに

この! OHのM

弾圧であり、

「ことである。とりわけ日共は米力「」の諸仮求闘争へとひくめられて「殴した。

到着。日共は、全学連部隊の密集 先頭にした全学連の部隊が会場

と数と「野戦病院実力を止しの

反戦青年委員会の旗の子にも統

大名の大量機関にも原光す間いぬかれた。闘争の主力となったのは、東京地区反戦連絡会議の下に大量耐集した反戦智年総労働者一 一名がよび金貴へがメットで身を闘めた金学選一千五百名の部隊であった(北区労運の労・者は五百)。 **選手名の労働者、学生が結集した。同七時半より、野駿病院の開設が予定されている米軍王子キャンプにむけてデモが行われ、三十** ||月二十日午後六時より、東京・北区の主子朝日公園で、北区労運主備の「王子ペトナム野戦病院開設阻止禁会」が開催され会部

北区の集会だ。君たちには参加の一ちは なぜ緋除しよう とするのか か反戦背年委員会の青年労働者が たちまち大衆的討 長青 七時三十分すぎ、野戦務院建設と青年労働者が結集した。

ラルミン指で完全武装した機動隊
五時三十分、公かっていた。

公園の一口で高校

ったが、全学連はこれに対してつくり、デモ隊の行事を阻力 金中、王子キャンプの季前で 。そこへ反戦青年委員会の労働 った。機動隊はこの企撃速・反 じた。機動隊は警杯をぬいて

をはしから、 ・ 昨年末と返って、当局は夏玄関 一局の合理化攻 での、時限ストを設定している。

を決定

新検修体制に対決

順法闘

争時

限

ス

ŀ

束したのである。 機動隊増員を目民党佐藤政程に約

会治安弾圧体側の強化を許すなく

物価メーデー

「ベトナム侵略反対・エンタープ

炎磯部氏は社会党に対して「増

とひきかえに、実は美震部氏は

度回転させ、駒込芳館へ縁 がは、これ迄の別 禁たる左何上旧学 来たる左何上旧学

三月実施という 諸政の席上、 一句けられるは、をしてきた。このようななかで国

て列車、電車

であったり・13年次数点が発出器 対する成かくでもあった。この一種がよいり・13年次数数が発出を対している。 「関係が一方数数の」というない。 は、このでは、13年次数数ができた。 は、13年次数数ができた。 は、13年次数をできた。 は、13年次数数ができた。 は、13年次数数数ができた。 | 情祭官の数は少なすぎる」と、機 住民八千名に一人であり、警視庁

一鉄労働者があえて順法闘争をおし、線にすりかえることは絶対に許さ 機動隊 千増員阻

懸案事項」の協議という取引き給 実施をひかえ昨年末のような「諸 2 26 都庁前 丐. 闘争へ

いぬかなければならない。

をむかえる。またこの具体的「労働者の団結の勝利につづき、条をめぐる対決はいっそうきび「区の「労働値行」 推荐という国鉄成型契である。それゆえ順法「れないことである。 図電田町電車 件闘争へのすりかえを許さず、闘

塚阻止 70年安保粉砕·野戦·三里 関西政治集会

力で、今次香醐を飼いぬさ、

われわれは「羽田・エンプ

二五日、東京原宿の代と に二〇万

戦線を強化しよう」 内閣実力打倒、七〇年安保阻止 金で生み出した新しい労働退 木公園で二〇万の組合員を集めて

(当)

し職場から仲間を組織し

一、会場 一、日時 三月七日 (木) 午後六時 大阪市立労働会館(羅紫麗家屬下層)

講演 共產主義者同盟與西地方委員会議長 全学連副委員長 関西地区反戦連絡会議事務局長 田原

芳

者の中に広範な支持と共感を開 っての宣伝を行ない、先距的会場でのピラ、高性能マイク

連帯の挨拶 三里塚反対同盟 (予定) 蒲 池 裕治 滑田 站一路

における機動隊の生産点への点な左翼によって闘われた。三の における、都能権去・強行的 四日夜九時より、二五日早朝 しかも、物価メーデーの前日

大量返捕という事態は、物価と

は、すでに一ヶ月間にわたって激(保のためにも、ベトナム人民の抵。ベトナム人民の抵抗闘争)れによる東陸アジアへの地歩の確 然たる挑戦

を一向に打開しえず、米軍死傷当 の規模にのほっている。にもかか、あり、首都の労働者人民に対する一億二千万ポンドという史上空前一た生のベトナム戦争」そのもので 千機も田勤させ、投下した爆弾は、の変動にそ、「日本にもちじ。 ではじめとする戦 外爆撃機を七、とする。王子跡戦病院の三月 この一ヶ月 間 に来軍は、B22 加担政策をより誘弩に展開し え考え、またジョンソンは医学関係をジョンソンに要請することさ は著しい増大の一途をたらっ 援助軍統合司令官は、十万名の増 い一学大の一途をたどってい 記者団を王子キャンプ内に招き入い一巻をたどってい 記者団を王子キャンプ内に招き入 とさ
| 軍病院としては恐らく東洋一の内 公然たる挑戦である。 とする。王子野戦病院の三月開設 抗闘争に裏向うから対立し、 去る二三日、米軍当局は日本人

へと発展させる巨大な契機となっ

成徳学 園短大

非常門

第一に、われ

職争は、野

いよ緊迫化している。し、三里塚情勢はいようと猛烈な攻撃を開始

条件版成派の要求三百万円(これ)

は民間売資の常識値)に対して半 | 等はすでに質収されているといわ

功しないであろう。地権者の幹部 | 塚空海絶対反対団結豆(浴花生)

| 塩質収と結婚をつけよ | た。十プール百十万円という類は | たが、こうした樹嶋は浴台に成して三月末を目落に用 | 上は伽崎に等しい圧力をかけてき | 意味している。

どうめられてきた反対闘争を、 二・二〇 反戦、全学座 の闘い した二〇闘争 社共の無力性暴露

抗議闘争と銘打って大衆国 民社党は二月十月 で企画し取組みで開始して

からベトナム反戦闘争としてのペ だよって、これまでの組域闘争 社共阿党は、二・二〇闘争の優 連日の地域ピラまきを展開 十条中学

る。最

| 挫数地

とめた空機が敷地削べによれば、空

二月十五日に県空記調査案がま

米軍

「電波障害制限

反対集会

2・25淵野辺キャンプ(神奈川)に六干

と部落版)の「買収同意管」の獲め、全力を要件賛成派(地権者会

地にのりこむ決意を固

挟着をつける」というのは、 額にも至らない。にもかかわらず

一十万円と免税のいろをつけて「

| 提民は一本づりには断凶反対であ | を終えている。各職場、地区反戦

で最大限の支援をしよう。

連現地派遣団・前田文雄=余学連

れているが、条件賛成二級の下部

百円」を用意し、闘争支援カンバニ〇〇号百円」と「団結ハチマキ

にもかかわらず大衆闘争の設定を 故に、病院開設が含し迫っている それが大衆的実力闘争へと発展せ 場に追いこまれている。彼らは

年委員会と全学連の実力闘争に敵 東京家政大 柳田公園 → ■ | 1111 病院 一般性は決定的で

によって現実に 戦病院闘争は、 発闘争では | 古大公であるの。その近イイシー|
	七大公であるの。その近イイシー
	10・5%、短期・当二人へ、紀参、無所強小士人、落て
	10・5%、区対鉄八一人、12分で

七曜争の重

養成二派の用地質収のため、従来通信基地「キャンプ領野辺」かくして「独当局と公団は、条件 この電波騒音の問題は、米 土万円)にに十アール当り二十万円の公団樹沢額(例、畑地十字、百

会餐が方月以内に売り減したもの たことに端を発している。

をはじめとして、金属士二の通信 に指定するよう日本政府に要求し 理管基地「キャンプ渕野辺」周辺この電波障害の問題は、米軍が

(主催者発変)の労働者市民を結

【神祭川支属路】二月二五日神

である。用が超質収は全く行詰って一定反対一万人の市民集会一が附かているのはは無所属の10・5分のみ集し、「米軍電政障害制限地区指

定」にとどまらず、共産園をスパーのための情報収集活動の強化拡大ーの海軍関係の通信、概約の方向調一くさせていると同時に、作岐出動 は、今回の米車の要求の意図は明察区の「上瀬谷通信基地」をみれ スパイ活動をしていたプエプロ号らかである。北朝鮮資趣に侵入し が疑惑された。このことは米軍の 谷通信話地」に所属していたこと

て、プエプロ号の乗組員が「上瀬 | を背景にしている。まさにペトナ がだ捕され、栗組員の自白によっ一ム戦争の激化と米軍のゆきづまり

| 限地区に指定されている模談市戸 | の任務が実は主要な任務である-ム侵略戦争遂行のためにフル回転 の任務が実は主要な任務であるこ している在日米軍基地はその神経 ようという米軍の意図は、ペトナ 一概に電波障害制限地区に指定し 全国十二の米軍通信芸地四辺を] う東交労働者と建帯しつつ、朝の

た。さらに、客館運行の統行を闘 場デモで、三輪営業所を包囲 会堂で決起集会を開いたあと 実力阻止することであっ の撤去攻撃を支部労働者が、

し、所提交渉 をくり返 し追求し 名の学生は、午前六時から下谷公 左訳労働者と支援部隊と連帯して 東京反戦に結集した二百数十名

五千二百起つ

二四日の闘争は、基本的には敵一に警告は窓をプチコワシて乱人、 まで対峙し、赤電を依然として走っければならない。選行を主張し警官と朝五時三十分一東交及合闘争は終 不当にも営業所外に「都民を」排 東京反戦は、なお頑強に都電の|濃部都知事を打倒するところまで

争として、方針を資銀したので

争は、鴛瓷所ならぬ記車室占拠層 と総括やした誘君の営業所占拠は

第二次都電撤去阻止闘爭 都して「……・革新都知事の改良主義」
一九名の不当な検挙にあった。こう たのだ。」(前班三月十九日号) い。二十五日午前三時五十分頃か によるとこれが営業円占拠ら て配事室に入り込み(実は彼ら

三の「地区区域」は六十数名をも 所に結束した東京区戦と

<

らせている仲間との連帯行動を終

くことが要請されている。

そして「安保体制打破、米軍基地

強化を通して、反戦青年委員会を

勝争の強力な一環にくみ入れてい ・ でをするもって七〇年安保

ている。われわれは、地区労の参

対実行委員会」は、自

通信調配から半径一大〇〇M以内・で「健康粉砕」等の唱和を行な通信調配から半径一大〇〇M以内・で「健康粉砕」等の唱和を行なが、音はケート前

・10闘争に至る現地反対回盟と反・20の公団抗議闘争から、3

勢の中で勝利の展望を切りひらく戦・企学連の闘いは、こうした情

地元湘北反戦を中心に結集した

をのもうというのである。 るという形を通して、米軍の要求国と民事契約を結び、損害保障す 地位協定第三条二項に基づいてい要求は、安保条約と共に結ばれた る。すなわち「日本国政府は合衆 国軍隊が必要とする電気通信用電 るのとする」というのかその様 な指置を関係法令の範囲内で は除去するためのすべての合理 張敏に対する妨害を防止し、

他によびかけることになった。

米軍の電波障害網膜
定し、東京地区区戦、全学運ぞの
を要求しているのだ。 圏で処理するとのべた。すなわち マンプ渕野 辺通信基地の 即時返 府は、この問題について、行政措 ■害制限地区指定絶対反対」「キ 米軍の電波障害制限地区指定の 週」のスローガンを採択しデモに いうものである。

・ 制限強度を決めている。例えば、 を制限区域とし、のそれぞれの まで、の車の通行は母時距五台ま の報告等をうけた後、「米軍電波 た。市民代表の決意や上瀬谷住民 集会は午後一時半より 開かれ Aソーンでは最も側限が関しく、 トタン屋根は不許

れし、既に市民のひんしゅくをかっま、機になりえていない大 ま、機になりえていない大 明らかにした。 なお、集会を主催し、

機動隊乱入に抗し 東京反戦闘いぬ

応した三里塚の闘いは政府を大き王子野戦病院開設阻止の闘いと呼

へき軍大な結節点となってきた。

く追いこむものとなるであろう。

なお、現地反対同盟は、二三国

築いて全面ストライキに突入することを 学生が、一月十三日全学にバリケードを 來、学費闘爭連絡会議に結集する四万の

動揺が始まる。クラス討論はバリ

Э現在の局面は、「組織戦と宣伝」際で南ベトナム民族解放戦。 ▼われわれの主張と主な論事点 団幡の質を与えた。-・30

ラスの中堅活動家の中に、広れな「栗肉批判で自己の改良主義的俗物」品生産工場の一大合理化=学教館店集を一時弱める。サークル・クー争をつぶそうとしている」等の「一主義的文配秩序の違立、労働力商

つできったしている1年の日 主義領対策を保存して、「中国など、大学の関係を発生します。」、「大学は発生して、対域が大きによって、中では、様本の対象が発生して、「本語が大きによって、中では、様本の対象が入れて、「本語は、大学の一様、特別、教育とは、世界の事態を発生して、「ないの対象に接受作った。」というには、「中国は、大学の一様、特別の対象に接受作った。」というに、「中国は、大学の一様、特別の対象に接受作った。」というに、「中国は、大学の一様、特別の対象に接受作った。」

2・10/辛試率力阻止闘争。法 て方向性を提出し、受験ポイコッ関集会に切り替える。

#生だけのデモ | 校生から闘争本部へ、「阻止闘争

月、三四%の学費値上げが発表されて以

得ざれた新たな政治闘争の質

をかちとった。中大学費闘爭は昨年十二 大学側を全面屈服においつめ、白紙撤回

消・教員増による「理想的

1・20/全学総決起集会。三千

濤のような闘争けっ起によって、ついに

なが後の代却であり、私命は目標・七日1万0名・十人自人の名(1) 生物ではモナンラ語からの参加・迷惑語のボース・真義のは動態関係という自然の最近のようない。 1・179(エンテン語等・) アポルス・ほど かたいみのし これわればして 心臓を対象の対象のは関する 実施調整経験を選出。 2・9の10とまたのに実施で、直接され、地域を対象に対象である。 1990年の1990年の対象に対象である。 1990年の

中大学費闘争は、圧倒的学生大衆の怒

1・13/団交担否。スト突入。 -・9/団交。升本理事長、1

団交前には正式決定をしない 8~15の間に大衆団変を

一、1.13から

31行動委総決起集会へ

三、24部分入試阻止から

を闘ったその闘いの質において、全人民 妥協的闘いとして学費闘争にとりくん は、大学の帝国主義的再編に対決する非 って闘いぬいた中大自治会と中大社学問 田闘争、10・21国際反戦闘争の先頭にた もって闘われた。昨年の二度にわたる羽 中大闘争は、羽田闘争とエンター闘争





濤の大衆的戦闘カで 白紙撤回かちとる

ホテル)実力関止に二〇〇名、の団交担否、当局の攻撃の企面政12・23/教学書機会(於丸の内)・クラス闘争 委 の設置し、当局 12・5/升本「値上げの主旨」 8日然発生的「懶上げ反対決議

ためぐる組織戦術上では混乱。大 の学部闘争 委への結集 がはじま

であり、今亭連一反戦・プロップナラ・コーこく民的政治闘争を闘い抜く団精。そこの行動委

性。行動委内部に敵裂と動揺敗治をもちこむことの決定的

祭らは行動委の「衆を組織し、大衆の実力部隊への「ればならない実因でもあった」とうとしてい「く、警員的な大衆宣伝の中から大」は、行助委でもう一度問題で 「全員(バリケード聯争をやって ルメットと提棒、知と刀のシンボ 結集を傾進するものとして、 「へ

の段階でこれらの問題が具体的一別し、自らが学典闘争を闘う中一闘争 でつき当たる限界と矛盾

|類によって 概なされる 「秩 | 強化された時、 だか

攻撃の非和解性一般と、値上げを一復による、

込が中交籍が最・20 小さつ

共產主義者同盟中大細胞理論誌

□われわれの世界革命帳略と組織 の個別闘争の歴史と論注

◎甲大学後関令の革命的発展のために

一全人民的政治關係と傾別関係

の研究院の見解したの批判

の中で大衆的に獲得していくの

放

第 号

¥ 2 0 0 (+¥50)



7 10卒試実力阻止へ 右翼は「学外勢力が中大闘学に 四 当局 14団交を提案

りこみ、弾劾集会に切り替えた。

を構築、千五日名泊り込み。四年 ①夜間部目治会(民間)、理事

草マル派・M上派・比当は団交

⊕2・9一万人総決起集会で卒

を持って

~ 2·16全面白紙撤回

試、卒試、等々の諸活動、議論分

2・16/「当局導劾・入試阻止 2・15/金学総決起集会。団交 であること、値上げは升本のたん

エンプラ調学、行動奏、部分人

双爆であることを綺羅(技術 反対・

一条の再編について(※四連会の自開連(学費開争連絡会議)行動 案。警観庁は、大学当局の要請

時で何ペトナム民政が放取線の名 かかえている典型的な季音を開発 関語の質を与えた。1・30~31段 選手学師は、現在の大響と学生が 変数し、バリケード関争に新たな「環境とその決定的重要権、まさに ○1・20快起集 日、五三七対七〇で、受験ポイコをの一時的停滞 う」という総話があった。二月九

華マル派・M上派は民青と無党派

目的な 集会・教育・宣伝 によ

共産主義者同盟中大細胞からよせられた られた中大学費闘争の全経過の報告と、 ったのである。社学同中大支部からよせ 化にとって、一つの大きな前進をかちと 闘爭総括をけいさいする。 七〇年安保闘争を闘う反帝統一戦線の強 **墜を与えることになるであろう。同時に** 全国で闘われている学費闘争に巨大な展 は早大、明大闘争の壁を破るとともに、 実力でかちとったのであった。この成果 倒的多数の大衆を結集して、白紙撤回を 新たな団結をかちとることによって、圧 学費闘争連絡会議指導部は、闘う大衆の 問われていた。社学同を中心とする闘う 的政治闘争の一環として闘われることが 製は、fietに革命的指導そのもの 宝 関する問題であった。 日共/全面勝利(既に十四日の要約すれば

① 最終局面の対応に

十六日団交(大講堂)無条行白紙撤回をかちとる

(今後の展望)大学機構改革→

主義一戦線
「一国交・中大の修理と属する」を「一国交・中大の修理と属りました」とは、
「国交・中大の修理と属りました」とは、
「一国をいった」とは、
「一国 氏学同/会遊勝利(十四日から 壁を粉砕した)→ パリケード 撤 (今後の歴堂) 政治 闘争への

(今後の展察)多摩移転、 華マル/一応勝利(十四日から

しながら、枯局大衆の自然幾年性 は権力に対決していることを順望 戦術の急進性をもって、主観的に

| 云の拍頭との | 民族主義の形成にまさこまれてし 内における帝 | 一のヘゲモニーによる拝外主義、

の、即ち自衛隊の核武装へと収約

治性を付与する」経済主義が左翼 「帝国主義の非和解性」をタテ

「学費酬金を開発を開発の一種として誇う」というスローガン 別類争を除れ、既物度必要令の一種として誇う」というスローガン の無概

三年のロシアに於て、い

の分解ー共同体幻 ペ平率も合めた一見市民では、それ李対象化 以降の急を軟べてみよく)

介入の深化に伴ってプルショアシーを、権力の侵略・抑圧・反革命の機は目帯の国際市場再分割戦への一共産主義者はあらゆる個別の闘い その自然発生性に、もし革命的左 はかし、その階級性を繋ぎ出し、 た全人民的政治闘争=国際反戦闘

以的城嶼組織(社学同

践にある(現実に於ては彼らも子

示されるものは何か

義が特徴的である。

除く)目径おおうばかりの改良主 着し、プロ稀ば穀の萠牙(全字)

連を超る反射 ②党の戦略戦術的指導

の蘭芽としてある、全学地・地区 し、プロ国際主義の原則に振つく

心は以下のようなものであっ 最終局面に於けるわれわれ 通り。

る諸個人が、現実に滑団主義分業 にが 敗北主義の原則 を再確 認した。

る。帝国主義的職場支配秩序の確

以来がず在自然している他の が 人民耶 縁致 刑 事命 の よる革命の流脈ないしは反革命を

(4) 組織総括とは何か

ような楽』という発言が闘う大衆。こそ、学費闘争を願ってきたし、

1997

写真下 (3) につづく

破防法と私大連で の中大当局の破壊。

の方針を追及し

への革命党のヘゲモニー確立は | 個級争として殴うための「計画と」 は危機が来てもプロレタリアー | リアートの国際連帯の下、日帝打 。シアの革命的人民と日米プロレタ 命、民主な義国家建設」へ収約さ

)年への橋頭堡築く

わたって具体的に準備する必要が 党结動が決定的に不足している。 関争連絡会議を通じない直接の政 反帝戦略部隊によってのみできる

力部隊とパクロによってなし得る
| 困惑の壁に突き当らせたのである | 末、基本的にかち ◎ "政策" については、以下の

「示以来、他党派の経済主義が顕著」案」の二面攻撃の性格を閉ぎらか 第一に、当日の第一次姿略楽量」きた十七日団交を、当局の「妥協 - は文持したいが、大衆にどうや | こと。 (これは、十五日の轍快和半主流派会議に於て、 「路線とし | を理論闘争と給合させて促進する 説明したらよいのか」という | 集会に おいて 長時間耐えぬいた |

での党派闘争を団交論争として 第二点に関して 全く不十分 でき

に対して第一点の強闘のあまい

だが、根本問題はいの点にはた

大衆の自然発生性が中大の枠を

おり、「白紙敷図」呈示を契機と おり、「白紙敷図」呈示を契機と する朋芽が続く大衆をひざさ 現在的には主体的条件に とはなし何ず、数日



大衆の日常意識が経済主義

て関う全学連・地区反戦の革 に新たな局面を、日帝権力に

※延祉 として理解させることである。 かわら 団主義支配秩序への闘いへの。 学教闘争連絡会議の指導部

改良主義的党派のゲバル



た。たが、

が個別關金を革命一数のパリケードをより高く積みあ一うした革命的に粉飾された小ブル る傾向が あっ | 大衆を突き当たらせ、断固たる弾 | の増大を生み落すものである。こ

反戦闘争を闘う金挙述・地区反戦 連合と同数の団結(学数闘争連絡

っては新国主義世界体制よ日本帝 民主主義的政策反対は、こんご増

である(反戦闘争はそのような質

でのみ聞いつるのだ。)

した「華 晏郷と、そのまやかしに過ぎない り、人徹底抗戦士主命〉主義とを義的部議 権力と中人資本の全人民的政治 階級的団船を 設定する ものであ

「白紙撤回」と官議導入の恫喝に一の対極に不可避的改良→議会主義

| スかえ合せること| リベムではあり得ない。 | シディカリスト と言う 諸君は、それらの関係では、かった。これは抉りてサンディカ なければならない。われわれをサ治生 語の 観線へ ことをおそれで回避してはならな る。党の个機能も、これにしたえ

的に粉飾する経済主義は、

あり、また機動吸への飛躍の内容る事、これが我々のいう陣地破で

「義の下に、党の戦略―戦待で承認一の派似首選性に大衆の自然発生性」ライキが、帝国主義の罪和解性に一員~11・12、1・17~21の国際反

9つつ中大個別社会をこえて団結 合 を奪われる事なく、左からひっぱ (我々がかくして経済的成果に目 も | 23可能性は、ちょうと、 | 第一に次衆の自然発生性の質が昨 の情が、自転撤回」を提 経済主義的党派の誘君は、ます

(主観的には"改良主義的"

合唱に対決し、徹底した大衆の中

変の再編)を作り出し、

中大闘争における

革命的敗北主義

工公日はこの 一の自然発生的戦闘性の急遽的展開

の後、物理的限界で成成し

会外化させ、議会主義・学博士者 | もかかわらず仏人民戦級内閣を成 | 戦闘が小番種した先進的大衆の国 ・反革命・民主主義では、中大学 国主義の非和解性」にもか に、これに埋役する部分は反米度一同的意識性が与えられれば、「帝一再編と同意の部分として、たが浄別主義の非和解性を理由一の枠を越えており、従って一定の一て取っ分字連・貴区区層

在って第二に、現在の反映斗争 大衆の結果を呼びかけ、往差の かである。) し、行動委員会への全丁の戦から かである。) 大衆の結果を呼びかけ、往差 がである。) ②内包したときに、膨大な大一装の指導的地位かちとることにいるに常国主義の非和解性との主流派会議がその戦闘的大衆の書 沿場程の登場を呼びむこし |無理解であった。 (このこ | 社楽向フラクションを通じて として、大学共同体と国家

日然成長的な「反帝 実 力部

とって左翼的に現れるのを一交に臨み、全ゆる孤立に耐え抜き載がサンディカリズムとい。を政治的軍事的に粉砕しつつ、団 止及びそれ以降の調いを推造して

信を主張して行行的では、たんなる個人的発音ではない。

自己党主言が不当たとは城後までいわなか

野党四派(社・公爵、民社、

行動の原則が「食石場言料弾」をよりている。これは何を意味する言典関係等を占めていた。大衆か。従来、佐藤政府の攻撃の一環定の「将来、冬国めていた。大衆か。従来、佐藤政府の攻撃の一環にの「将来、冬日の日

述べなかった。また佐藤も在石発

ンタープライズ脊髄反対、非核宣化かたちで良社が、沖縄返還、エ

選阻止」勢力の結集がみられたこ 政策服談会」が生まれ、 は、佐藤・福田ラインが独走したをめぐり、自民党の側をみるなら

倉石問題の意味するもの

色とのどのの各地区反戦旗と関西前は、緑の全大阪反戦旗を中心に

月二十日、大阪を中心に京都から

こえたのは、佐世保現かったのである。佐世

討議は失なわれ生産点での政治関 となった職場闘争は圧殺されるに

に資本に よる生産点 支配が確立

五〇年代総評の戦闘力の基盤

モによってのみ行なわれているわ

る地区反戦の急速な拡大は

解決される問題ではない。

っては一・七、

グデモという戦闘的雰囲気に満ち

飛躍拡大する

屈服し、無限後退をくり返す。焼 め、街頭における機動隊の弾圧に 化と国家権力機構における議会の

し、職場をころで、職場の外で青 反戦は、地域で 政治討議 を回復

個」したり京地区反戦運移

り、日本人民への重大な挑戦であ

このような事態に対応して地区

闘りの報告と展望

学連の全員検挙を狙っていた官豪 逮捕者を出しながら敢行した。全 学生一名を逮捕したのみで、全学学生一名を逮捕したのみで、全学 連は反戦青年委の労働者の盛大な

このような事態を招来するにい

た。一〇・八の羽田にかかる三〇一徐太に職場に遠流させ、等われたさせ、いたずらに将耗させていっ一年労働者を結集しつつ、その力を一斉。デモは労働者の戦闘力を分散 し、環境をしえて、環境の外で青

結合と統一的指導の軸をなずのは

反戦の目覚ましい発展は電通、教

取結成を妨害し ない。それは地 カルに発揮しな やゲニーの實 へゲモニーの實 る。。

一戦線としての

ずにはいられません。 り、日本を事実上完全に侵略戦争 が、日本の核基地化・核武装化へ

このエンタープライズ寄港を図

に参加させる行為であると見なさ

えないのであ おいて家とい抗議行動を行ないまなければ、逆 民は、佐井保・東京なら、各地にをければ、逆 民は、佐井保・東京なら、各地に戦級としての 止しょうとした学生・労働者・市 おっしゅうき

したが、この行動はわれわれ自身

の棉で展開された金学連の実力闘

を果たしている。 ぐ組織として、全電道の各分会を

図 こと多大である。 図 こと多大である。

として、エンプラ闘争の全国的関の一環として、エンプラ闘争を支える全国闘争 た。そしてこの國争は佐世保と

70年闘争に向け

一月末の南ベトナム解放民族戦線の全国的総攻撃を契機に、サイゴン、ユエ、ケサン等では連日にわたる攻防戦が騰

1, 100

の日本の地位と日本帝国主義の侵力レートは、侵略前線基地として

東京都田無市緑町三丁目三ノー六

戶

凝気付

米軍基地を共通する姿となった。線の第二線攻勢以降、日本全国の

アメリカの侵略の対抗的軍事エスこのように解放戦線の総攻撃と ほとんどの大型艦が出動してガラ

に対している。 と何の記載者 〇一声にはからのだい。
 ものよいな。 まだのは、日本語のです。 またのような表現の業力 いかたことを問題では、 こったのでしている。 実際の智慧美型は、 影り間間にはからので、 自同にもからので、 またのよいない。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのような日本語のである。 またのまたのでは、 またのまたのまたのでは、 またのまたのでは、 またのでは、 またのまたのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのではのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またのでは、 またの

羽田十・八救援会事務局

(振替口座

日本基地に集結する米侵略機

会議の結成 神戸原やの推進は、関西製作で 神戸原やの推進は、関西製作で 神戸原やの推進は、関西製作で から北大良区域、足層区域の がなから北大良区域、足層区域の がなから北大良区域、足層区域の

関西地区反戦連絡

問われる職場内組織 (2票) との結合

的デモは、佐世地における戦闘 れ の市民権を確立しつつある。そし 質 寄年運動の中軸的集団として、そ 一つつある。今や 関西の 地区反戦 の動きを見せており、日韓反戦と れ、さらに城北地区が反戦結成へ 取の各地区反戦が相ついで結成さ でこの二月は、西部、東西、東大 □ る。 一○・八以後、羽田顕争の中 の本格的信動を開始したものであり、最大の北大阪区戦以外は、昨年か の 地区反戦の飛躍的拡大である。 様 たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ闘争の高揚 (たったのは、エンプラ関争の高揚 (たったのは、エンプラ関争の高揚 (たったのは、エンプラ関争の高揚 (たったのは、エンプラ関係) 高槻、吹田などの各地区反戦は、 佐世保闘争の報告、映画集会を通 百名結集をはじめ、尼崎反戦の百 佐世保に二十名を派遣した大阪

解放 戦南ベトナ 線ム

再度の全土攻勢

であった。 一大のであ、日、北條開始的域、エンプラ再入 地面上大阪集会では総計二千のテ 地面上大阪集会では総計二千のテ 地面上大阪集会では総計二千のテ 他の先頭に反戦者年素が起ち、反 戦力 反戦の結成準備をはじめ二月一一に京都でも洛南、洛西、洛北の各 反戦の再建が、始まっている。七 モーランド米南ペトナム援助軍司
十三日、米国防省は「ウェスト ▼相次の増売ら級兵拡大 すます公然たる侵略基地としての姿をはっきりさせ始めている。 に二月十八日未明、解放戦線は第二波の一斉攻撃に出た。アメリカの対抗的な軍事エスカレートに伴い、日本、沖縄の米

総括と展室 の地上戦闘兵力をベトナム向けに 会官の要請に基すき、一万五百人 戦闘兵力が中心とみられるが、こ 急派中である」と発表した。これ

止することを決定。同時に、就職

ん、組織的な徴兵カー

向が抉められていった。

9先、二月に入ってから、主要単重の臨時大会、中央委が開催され、要求決定と編金戦術の基本的方今次春園は二月二五日の第一次統一行動(物価メーデー)をもって具体的な行動に移った。これよ

(物価メーデー)をもって具体的な行動に移った。これよ

線」ということで、実質的に要求がら、実際には、別に「最低この

第一は、大巾貨上げをかかげた 東京三八〇四三)

上げ一万円、最低線七千円と分けをさけていること(全電通でも傾

ながら、「緊逐艦」といわれる民 総評は「大衆路線」を抵軸にし 総評の「緊逐艦方式」

惟機を前に出しても瞬うわけがな

それゆえ、今次春闘で合化がど

5

第二に、全座幣においても、ま

世て"春闘相場"を切り開らく、間中核組合を三月下旬から先行さ

が現実のものになり、どの組合が た産業別統一闘争においても大王

Uを分離して殴おうとい

という二本柱の構想をもって

これは昨年春日が「闘わざ

加外への移住の増工

戦

合計五十一万五百人に遂ずること これまでパンカー駐吶ペトナム

した」と英観的報告を本国へ送り、が、新たに透抜徴兵の対象とないる」「ペトコンの総攻撃は失敗」四十三万人と見込まれている―― に踏むうとする者、今年六月 の結果、今年六月に初めて大き

十八日米町、南ペトナム解放民 ・一八日米町、南ペトナム解放民 ・一八日米町、南ペトナム解放民 ・一八日米町、南ペトナム解放民 米軍および政府軍施設などに一斉 三分の一が「戦争への非協力」を

こうしたは似な後の整確性に対す、大対状点として表定している。 佐 こうしたは似な後の観音主義体調の音形と たのが楽はないと顕微のつづけたしての行動をもち、それによって のだ。こうして、ブルシッケ医療 大対決点として設定している。佐「石」への転換は七〇年安保を一 び そよりつこう ! それのつこう ! それのつこう ! それのつこう ! それのの個字を何ら阻止し | 明 軍・米軍は解放戦線の動向 るかに大きい。というのは、政府 が与えた影響は、第一紋よりもは 模なものである。この第二数攻勢

党 りでなく、二十三日に国防省は、 快定しようとしている。そればか 成 決定しようとしている。そればか で これに対しアメリカは、秘密種 である。また同時に、国防省は、 である。また同時に、国防省は、 である。また同時に、国防省は、 表した。これは一ヶ月間の依兵数

の即時撤収、一切の即時撤収、一切 だ。沖縄原水路 沖繩発者以来、

な、「住民に でも「米国が も「米国が

り る」と述べて、闘争の切倒しをは かっている。

機 場休側の固めに入っている。 ・ このような動向のなかで、合化 ・ と参、化回、紙バなどの組合は、 ・ 表情合による春鰯方式を決め、職 ・ は、板組合による春鰯方式を決め、職

職場では、物価値上りと合理化

別統一闘争さえ放棄するというこ のそれとを別にし、形だけの産業

する春闘情勢

快められた。たが実際にそれがなされ、一応統一斗争強化の方向が 社別に任せる」という案が、否決円だけを統一闘争とし、残りは各 る中央統一交渉の威否にかかって

ろ 響をおよばすことは明白である。 の知すうは、今次春間に大きな影 にかけての図労、勤労の反合闘争

・ 協利と組合幹部のしめつけるはねいかにしてついる。 のくか、職場から労働組合を労働 のける運動にはなりえていない。 のくか、職場から労働組合を労働 のける運動にはなりえていない。

竹僚分成が独走したことである。 ろうと しているのだ。こ うした 明らかなことは、自氐党内 とによって棟化する危機をのり切うに、明らかなことは、自氐党内 とによって棟化する危機をのり切った。

官僚派抬頭する自民党

行動と、国内攻撃ーをれば壊食網 ひきおじず方向にあるといえよう とび革命体制機化のための具体的 保にむかって自己党のジクザクを 集めてきた。したがって現在、日 が明らかとなった。それは100g 自己党もまと議会設党として原を 指母部内部の対立が存在すること 攻撃」たらざる 参え ないーの必 吸収されざるをえないのである。 の階級協調体制の種特という従来

強化に向けて自民党は全体として

る攻勢、米軍死傷者の増大という 線の第一波、第二変の全士にわた 線のように、両ペトナム解放戦

です。 (日間報道は15年 作用ので、作用の事態は 物間のくのもので、より発動を 15回間。 「上さり 割りむ甲基原に対しての丁井 東朝町散変のはんで打止等 15回間。 「上さり 割りむ甲基原に対しての丁井 東朝町散変のはんで打止等 15回回。 「上さりものでは、大変は「日本」の「北京でも変しまった」と変し、上さりものできた。 表現の他のでもった。 大変は「日本」の「北京でも変してもった」と変し、上に対しる大学の 無りとし 2 漢ととらし 4 変し、15回では

▼自民党内の派動と官僚派台頭

る攻勢、米軍死傷者の増上

するタカ派」はつねに官僚勢力!

で、自然を達して、ま)は、の指定を構成。 で、自然をは、まりは、の指定を構成して、まりは、の指定を構成。 で、自然をは、自然をして、なが、の数数の情には、ないかなれた。したり、それは、の数数の可能の可能のの数金、業額で、とないの数数をは、ないかなれた。したり、それは、の数数の可能の可能の数金、表面が、これが、の数数の可能の可能の数金、表面が、これが、の数数の可能の可能の数数。

人から四万一千人に増加 役りく兵器である。大五年七月にており、解放戦闘権対する最大の

`統

世界的した。他にも種々の大田様が 大は十八様に増加し、十六日からはの大は十八様に増加し、十六日からはの大は十八様に増加し、十六日からはのは、大田にも公然とスキナムへ発班を問いた。

人挺した。

右傾化を助ぐことを目的としてい 対し、糖評の主導権を取りもとす

また労働運動の無原則的な

数は一日に自五十十二目にもなっ

万人規模の総決起集会、四月十日

他機労地は四月六~七日東西五

た。また野戦服の本兵士が基地に

B記はいつで が、松下の表質技が鉄連中央委で

放ストとい う日程を挟めている スト権集約投票、四月十九日第一

を打削できるか疑問とある。 今廃除の 女業がくみえられたい。 をするで、大から会話に「10番買」 西崎のの移行。気持たはいるには、 のするため会話に「10番買」 西崎のの移行。気持に軽峻、職 のがら会社、「単位とが後に関す。 の様のの移行。気持には、職 のが、これらの「駅議職」 方式か

方式は、組織労働者の八別をま 傾向である。

スペ

かくして秘評を中心とした春日

きって、大手五社の闘争委と中小

ので、大巾値上げへむかって下部 「秋國」から「春國」に移行し

私鉄磁運は「一万円のうち六十

一 窓りはた何い、脚う窓式はある。 一 窓りはた何い、脚う窓式はある。 各 しかもペトナム侵略戦争への積極 が、は相大し、そのため消日・12人を が、は増大し、そのため消日・12人を で、2011年 で、100円 心は高まっている。 にもかかわらず、労働組合の領

書房 駿河台 2

幕末暗殺史 森川哲郎/2008

総評・この闘わざる大組織 齊藤一郎/ハッの円 增補人間論coooH 現代思想入門200円

梅本克己

マルクス主義における思想と科学

である――第二、第三のペトナムを求める人びとペノノ三一繋書・260円である――第二、第三のペトナムを求める人びとペノノ三一繋書・260円から近隣の選及した前衛となった人たちかりう咳士とは、人民とこちに解放の熱意に燃え、平和的な解放の道がとさかります。 ゲリラ戦

ノバラー

表の調金をより強力にするためには必能の共同物化/三一概章。200円 その調金をより、準力の気法の発行・機能等の可能の作品を決定した。今 よる減化、準力の気法の発行・機能等の可能の作品を設定した。今 よる変の対策・電話が、策の安全を選用の実代、公安等制・数月の側になっ なっている。

公安条例 弾圧立法と

の時期についての最も賃息な資料となっているノニー頻響・270円一九三七年七月に書かれた本書は、内戦の初期の革命的状況と多の変質

木 隆 訳

インの戦場

長田 衞訳

マルコムXスピークス

現代史の主要問題と深いかかわりをもつフランス 共産党の苦闘と独自性を日本の知識人の立場から 発明し、現代資本主義国における革新政党の課題 を明確に提起せんとする労作。厳しく暗い党内闘 争・方針の突如の転換・惨めな敗北ー ---この暗黒 面を直視し、人民戦線とフランス共産党の「栄光」

現代の理論社 東京都千代田区神田小川町 2-12

羽田佐世保救援の訴 羽田十•八救援会事務局 え

マ

ル

ク

ス

主義

的課題

弘 編 著·¥四八C

艦隊の中心的存在である原子力空

佐藤政府は自己の戦争政策を棚

香地阻止闘争の犠牲者にこの教授

る予防検束、博多駅頭におけ 傷者・逮捕者を出しましたが、そ し、これに計画的な弾圧を加えま ればかりではなく、飯田橋におけ した。デモ隊に対する脳刺な警察 哲動を広げたいと思い、みなさま |九六八年||月||日

たちのであり、たとえぞれへの群・のであります。また以上が立場に、 個に若よからが、とはらるとせよ、 おいて、権力の領性とよった学生 われわれば、 一致して、彼らの強・セスケの物をつい連邦を実明し、 のであります。また以上の立場に さしく暴力的なものである と 考われわれはこの権力政策こそま

たる支持を与えたのである。
たる支持を与えたのである。
たる支持を与えたのである。

沖縄にB別を移動させたのは、最一総は米軍輸送船が密築し、民間船

第一章

工業社会とマルクス主義 H・マルクーゼ著 片岡 啓治訳 第二章 階級闘争とは何か 現代民主主義とプロレタリア革命

半七五〇